

# 若者、子育て世代及び女性のモビリティニーズに関する調査報告

## 背景

- 交通は、社会経済に大きな影響を及ぼす重要なインフラであり、幅広い世代の多様な移動目的に対し、モビリティの選択肢を幅広く提供することは、移動利便性の向上、積極的な外出機運の創出等に資する。

## 目的

- これまで焦点を当てられることが少なかった、若者、子育て世代及び女性のモビリティニーズを整理する。

## 内容

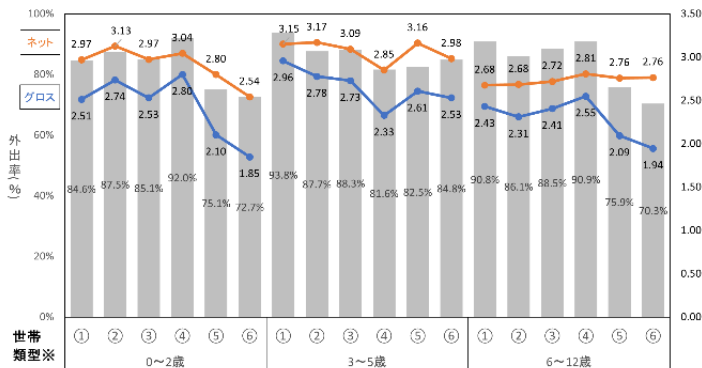
文献調査、既存データの分析（全国都市交通特性調査及び東京都市圏パーソントリップ調査の分析）による移動実態の把握及びWebアンケート調査による主観的評価、潜在ニーズ等の把握を行った。

## まとめ

若者は、鉄道利用に関して年代差が大きいこと等が分かった。子育て世代は、送迎を含むトリップが多く、特に末子年齢0～5歳でトリップ数が多いこと等が分かった。女性は、仕事、買物、送迎及び私用を含む多様な目的の移動が多いこと、安全面の重要性等が分かった。

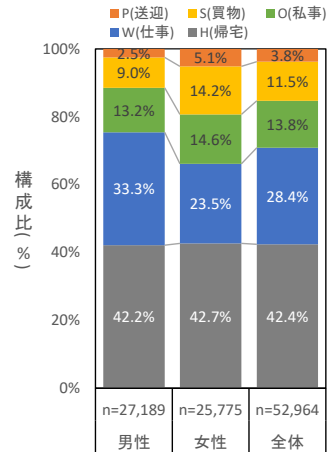
身体活動を伴う移動として定義されるアクティブモビリティは、徒歩を中心として広く利用されており、特に電動アシスト自転車については子育て世代の女性に多く利用されていた。定員又は出力の小さいマイクロモビリティは、若者、子育て世代及び女性のほぼ全てのカテゴリーにおいて、代表交通手段とした移動が全体平均を上回っていた。

クロス分析を行うことで、例えば、若者のうち30歳から39歳の女性は、同年代の男性に比べてトリップが複雑になる傾向があること、子育て世代では、ケア移動である送迎を、男性に比べて女性が1.8倍多く担っていること等、多様な主体の移動に関して多面的な分析結果が得られた。

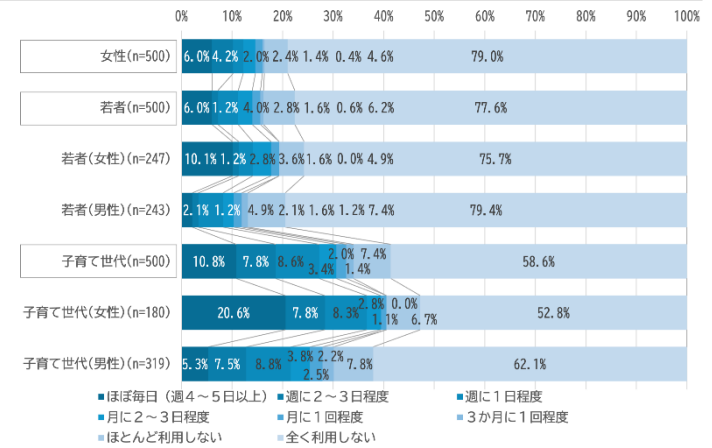


※①世帯主・配偶者ともに常勤 ②世帯主・配偶者ともに常勤、補助者あり ③世帯主常勤、配偶者パート  
④世帯主常勤、配偶者パート、補助者あり ⑤世帯主常勤、配偶者専業 ⑥世帯主常勤、配偶者専業、補助者あり  
補助者は、世帯主/配偶者の父母、世帯主の祖父母、世帯主の兄弟姉妹、世帯主の親族

世代構成別・末子年齢別の子育て世代の外出率・トリップ数



女性・男性の目的別トリップ構成比（全国、平日）



電動アシスト自転車の利用頻度（平日）